

あわいんべ あらたえちようしん 麻植郡と阿波忌部氏による鹿服調進 講演会

★令和元年(2019年)に美馬市木屋平の三木家(阿波忌部直系)で栽培された麻は、古来からの慣習と伝統に則って鹿服(麻の反物)に織られ、11月14、15日に皇居東御苑に建てられた大嘗宮の悠紀殿主基殿に神御衣として奉られ、日本中の注目を集めました。阿波忌部氏による鹿服調進と麻植郡との深い関わりとは何なのでしょう。麻植郡と命名された真の意味とは。



＊日時－令和3年1月30日(土曜日) 10:00～11:15 記念講演会
11:15～11:30 鹿服写真展の解説

＊場所－鴨島公民館 吉野川市鴨島町鴨島1 大ホール

＊主催－日本の原点を見詰め未来を創る 一般社団法人 忌部文化研究所

＊申込－事務局・林田(0883-36-1147)

※コロナ対策のため、講演会参加希望者は、予め上記まで申し込んでください。

講師：忌部文化研究会 会長 林 博章(はやし ひろあき)



・昭和40年(1965)徳島市生。青山学院大学法学部卒。2005年鳴門教育大学大学院修士課程修了(地理学)。古代史研究家。主著に「日本各地を開拓した阿波忌部の足跡～安房国編～」(2006)、「日本の建国と阿波忌部」(2007)、「倭国創生と阿波忌部」(2010)、「オオゲツヒメと倭国創生」(2012)、「徳島剣山系の世界的農業文化遺産」(2015)。「天皇即位の大嘗祭－徳島阿波忌部の歴史考」(2018)。2011年に鳴門海峡の世界遺産化、2012年に剣山系の世界農業遺産化を提言・原案作成。市民・行政・産業界と連携し徳島や日本創生のための活動を展開。